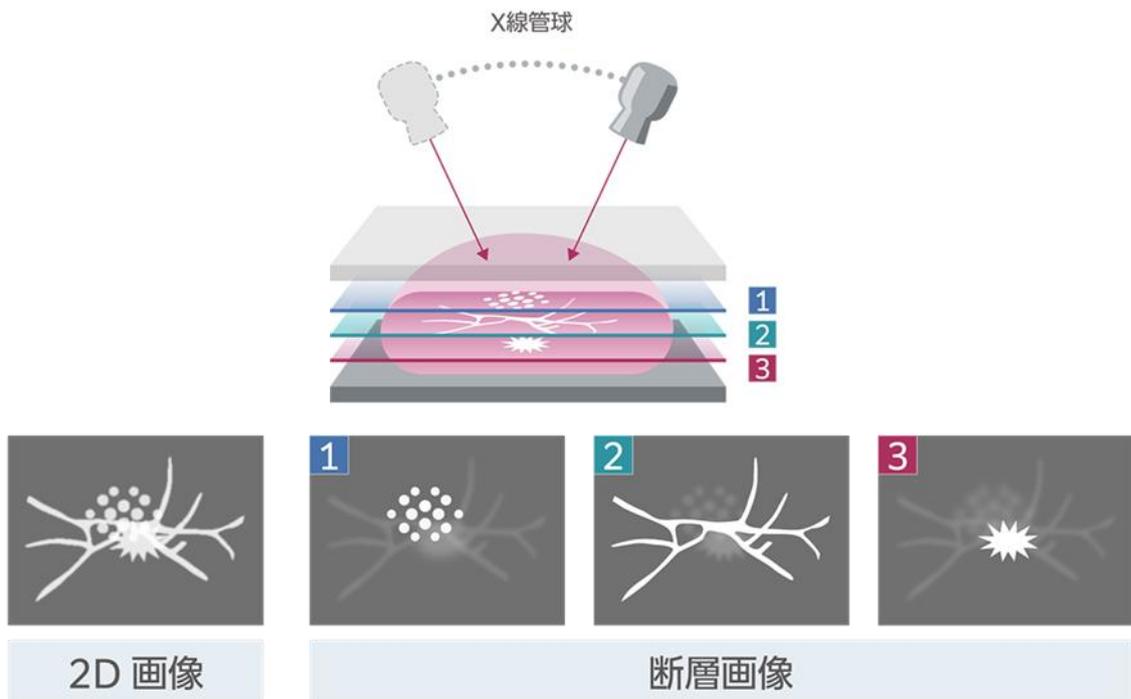


* 3D マンモグラフィ<トモシンセシス>のご案内*

従来のマンモグラフィ（2D）に加えてトモシンセシスが撮影できるようになりました（オプション検査）。

トモシンセシスは装置を動かしながら撮影することにより乳房を多方向から撮影します。これにより従来のマンモグラフィ（2D）の写真では乳腺に重なり発見しづらかった病変も観察しやすくなります。

1回の圧迫で通常の撮影とトモシンセシス同時に撮影が可能なので圧迫する回数は従来検査と変わりません。（圧迫時間は10～15秒に延長します）。



また、新規導入機には圧迫自動減圧制御（通称：なごむね）機能が搭載されています。通常の乳房圧迫完了後に乳房の厚みが大きく変化しない範囲で圧迫圧を減圧し、最大圧迫圧となっている時間を低減することで患者さんに寄り添った優しい機能となっています。